

付着生物ラーバ情報

キヌマトイガイラーバが増加しています ミネフジツボラーバが出現しました

1 2月上旬のラーバ出現状況

付着生物ラーバ調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2～5のとおりです。

(1) ユウレイボヤラーバ

全調査地点で出現が見られませんでした(表1、図2)。

(2) ムラサキイガイラーバ

奥内で77.5～90.0個/m³、久栗坂で21.1個体/m³、野辺地で11.7～122.7個/m³、川内で85.9個/m³見られました(表1、図3)。

(3) キヌマトイガイラーバ

奥内で8.3～65.8個/m³、久栗坂で7.8個/m³、野辺地で126.6～2,392.2個/m³、川内で634.4個/m³見られました(表1、図4)。

(4) ミネフジツボラーバ

久栗坂で0.6個/m³、野辺地及び川内で1.6個/m³見られました(表1、図5)。

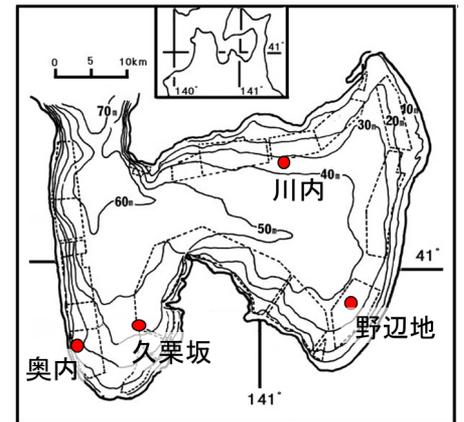


図1 付着生物ラーバ調査地点

2 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

10月以降の累積ラーバ出現数は、奥内で4.0個体/m³、久栗坂で4.7個体/m³、野辺地で7.9個体/m³、川内で0.0個体/m³です。**付着数が多くなる目安である5.0個体/m³を上回る海域では、出荷時期に大量付着し作業効率が低下する可能性があります。**

また、陸奥湾の中層水温は西湾で6～8℃台、東湾で3～5℃台となっています。現在はユウレイボヤが産卵する8℃以上の水温となっている海域が少なく、ラーバの出現も見られていませんが、今後、水温の上昇に伴い、ラーバが出現する可能性があります。

(2) ムラサキイガイ

ラーバが出現していますが、**秋から冬生まれのラーバの養殖籠への付着は少ない**ことが分かっています。

(3) キヌマトイガイ

ラーバが増加していることから、今後、籠等への付着が増加することが考えられます。

(4) ミネフジツボ

付着直前のラーバが出現したことから、今後、付着が進むことが考えられます。

表1 令和8年2月上旬のラーバ出現数

単位: 個体/m³

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ムラサキイガイ	キヌマトイガイ	ミネフジツボ
奥内沖	2月2日	0.0	90.0	65.8	0.0
	2月10日	0.0	77.5	8.3	0.0
久栗坂沖	2月5日	0.0	21.1	7.8	0.6
野辺地沖	2月5日	0.0	122.7	2,392.2	1.6
	2月10日	0.0	11.7	126.6	0.0
川内沖	2月5日	0.0	85.9	634.4	1.6

